

2023年度（第13事業年度）

事業報告及び附属明細書

自 2023年 4月 1日

至 2024年 3月31日

公益財団法人 日本女性学習財団

I. 公益目的事業

生涯学習の振興及び活性化支援事業

2023年度は、本財団の目的である「男女共同参画社会の形成に資する生涯学習及び次世代育成の振興に寄与する」事業の円滑なる進展を図るため、情報誌での国内外の動向を踏まえた最新の情報提供、SNSを活用した広報活動の強化、関係機関・団体との協力連携を通し、当面する諸課題について各学習事業、管理運営、その他の事務を遂行した。2022年度にリニューアルした財団フロアの場を活かし、対面とオンラインを併用した事業を行い、財団ネットワークの基盤を強化した。

1. 研究調査

(1) 防災・減災に関する研究調査

趣旨：昨年度までに引き続き、男女共同参画と災害・復興ネットワーク（JWNDRR、代表：堂本暁子）と協働で事業を行うと共に、ホームページにおいて、防災・減災とジェンダーに関する情報を発信する。

内容：①財団HPの「防災・減災とジェンダー」を更新した。

②月刊『We learn』2024年1月号にて「危機—ジェンダー視点からの検証」を特集テーマとし、防災・減災の視点を入れたレポートを組み込み発信した。

③独) 国立女性教育会館主催「令和5年度 男女共同参画推進フォーラム」にて、男女共同参画と災害・復興ネットワークが実施したワークショップ「イタリアから学ぶ防災政策～関連死を防ぐキーワードTKB48～」(2023年12月2日実施)の広報協力を行った。

(2) 女性の教育・学習活動史研究

趣旨：「出発・再出発」をテーマに、男女共同参画社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや過程などをまとめたレポートを募集し、「日本女性学習財団 未来大賞」として優秀作品を表彰する。

選考委員：村松泰子（理事長、選考委員長）、犬塚協太（理事）、中村香（評議員）、藤井俊一（常務理事）

内容：① 第7回未来大賞応募レポート数 27篇（8月31日締切）

② 選考委員会（オンライン開催）

日時：11月15日（水） 応募レポート27篇の中から大賞1篇を選考

「第7回 日本女性学習財団 未来大賞」：『ひと言』が背中をそっと支える～出会いと学びをめぐって～／長安めぐみさん（東京都）が決定。

③ 贈呈式（ハイブリッド開催）

日時：1月27日（土）

*月刊『We learn』2024年3月号に大賞レポートを全文掲載した。

2. 人財育成事業

(1) キャリア人財プラットフォーム事業

趣旨：女性のエンパワーメントをめざし、生涯にわたるキャリアデザインを男女共同参画の視点で支援する「キャリア支援デザイナー」を養成するための講座を開催するほか、女性の生涯にわたるキャリア形成のための人と社会をつなぐ場で

ある「キャリア人財プラットフォーム」の資源を生かし、学び合う場を創出していく。

内容：

① 第11期養成講座

日時：10月15日（日）

講師：野村浩子（理事）、村松泰子

受講者：7人

実施方法：オンライン

*登録証授与式は12月16日（土）にハイブリッドで開催した。

② 第9期更新講座

日時：9月10日（日）

講師：犬塚典子（第3期）、村松泰子

実施方法：オンライン

登録更新人数：4人

*1～11期登録デザイナー92人（2024年3月31日時点）

③ ブラッシュアップ講座

趣旨：主に財団キャリア支援デザイナーを対象に、女性のエンパワーメントやキャリア支援に関する学びを提供する機会として実施。

日時：12月13日（水）

テーマ：「何歳になってもドアは叩け—専業主婦からの再出発、学び、政治参画」

講師・コーディネーター：中村香（評議員）

パネリスト：佐伯加寿美（第6回未来大賞受賞者）

実施方法：オンライン *見逃し配信あり

参加者：10人（申込数17人、動画再生数25回）

④ 企画協働事業

第1回応募企画2件、採用企画2件

第2回応募企画3件、採用企画3件

<1>日時：6月11日（日）

テーマ：「海外生活、女性の生き方・働き方～在住者にきく、悩みと葛藤～」

企画：岩井真理（第2期）、河添知美（第7期）

講師：秋田まき（海外こころのヘルプデスク24時代表）

ファシリテーター：岩井真理・河添知美

協働先：海外こころのヘルプデスク24時

実施方法：ハイブリッド

参加者：33人

<2>日時：8月8日（火）

テーマ：<夏休み企画・学生限定！>「社会の一員になるってどういうこと？～フィンランドの子ども・若者たちが学んでいることを知り、

自立・自律について考えてみよう～」

企画：小原尚子（第1期）

講師：ヒルトゥネン久美子（フィンランド教育／福祉スペシャリスト）

コーディネーター：小原尚子

実施方法：オンライン

参加者：13人

< 3 > 日時：3月2日（土）

テーマ：『『権力を恐れず真実を―米国下院議員バーバラ・リーの闘い』上映会及びワークショップ』

企画／コーディネーター：花野泰子（第10期）

講師：柳澤幾美（南山大学、名古屋市立大学他非常勤講師）

協働先：「権力を恐れず真実を」東京上映チーム with 「投稿誌 Wife」

実施方法：対面

参加者：29人

< 4 > 日時：3月12日（火）

テーマ：「令和の共働き夫婦と性別役割意識～新たな夫婦像にみるジェンダー平等～」

企画／コーディネーター：大村敦子（第9期）

講師：石山恒貴（理事）、小西一禎（ジャーナリスト／元米国在住駐夫）

協働先：法政大学大学院石山ゼミ

実施方法：ハイブリッド ＊見逃し配信あり

参加者：16人（申込数24人、動画再生数10回）

< 5 > 日時：3月16日（土）

テーマ：「産後は大冒険！？ワーママは勇者！？これからの子育てを体験するボードゲーム「サンゴクエスト」で、これからの自分をキャリアデザインしよう！」

企画／講師：稲毛珠里（第5期）

実施方法：対面

参加者：6人

⑤ デザイナーズ・ラボ

2022年度より実施。学び合うコミュニティとして、キャリア支援デザイナー同士の学び、交流の場を定期的に提供し、コミュニティの活性化を推進する。

① 第5回 6月15日（木）19:30-20:30 参加数6人

② 第6回 9月21日（木）19:30-20:30 参加数10人

③ 第7回 12月21日（木）19:30-20:30 参加数8人

④ 第8回 3月21日（木）19:30-20:30 参加数6人

⑥ 2023年度キャリア支援デザイナーフォーラム

趣旨：「キャリア人財プラットフォーム」の「学びあうコミュニティ」をめざして、ネットワークを強化することを目的に実施。

日時：2024年2月17日（土）

内容：午前：第22回ぶっく・とーく（下記、（3）資料の整備・情報公開②参照）

午後：〔1〕トークセッション「『ケアレス・マン』モデルからの脱却」

講師：浅倉むつ子（早稲田大学名誉教授）

パネリスト：大槻奈巳（理事）

〔2〕全体会・交流会

実施方法：ハイブリッド（会場&オンライン）

*午前は一般公開、午後は財団関係者限定。会場は財団関係者限定。

*見逃し配信あり（第22回ぶっく・とーく、トークセッションの講義部分）

参加者：42人（申込数61人、動画再生数：午前39回、午後11回）

⑦ デザイナーへの講師依頼のコーディネート

デザイナーへの講師依頼について、講座等の目的に合致した方につなぐ役割を果たしている。

- ・千葉県男女共同参画センター
- ・明治学院同窓会横浜支部
- ・兵庫県西宮市立中学校

（2）男女共同参画の視点に立つ女性のキャリア形成支援者に関する研究

趣旨：キャリア支援デザイナー自身の支援経験や知をアンケートやヒアリング等で可視化し、地域における男女共同参画の推進にも資する女性のキャリア形成支援者向けプログラムを開発していく。2023年度は3年計画の2年目として、デザイナーへのアンケート調査や、有識者へのヒアリングを実施する。

内容：キャリア支援デザイナーに対するアンケート調査を作成し1～2月に実施した。結果をキャリア支援デザイナーフォーラム全体会にて一部報告した。

（3）子育て支援者育成・次世代育成講座

趣旨：子育て支援、次世代育成に携わる人を対象に、ジェンダー視点をもった支援を軸とした支援者育成講座を開催する。

日時：1月25日（木）

テーマ：「子育て支援者として知っておきたい“包括的性教育”～実践に向けて、基礎知識を学ぼう～」

講師：渡辺大輔（理事）

実施方法：オンライン開催 *見逃し配信あり

参加者：25人（申込数39人）

3. 情報提供

（1）月刊『We learn』発行

趣旨：男女共同参画の普及啓発のための専門誌として、ジェンダー平等や女性のエンパワーメントに向けた情報提供に努めるほか、キャリア支援デザイナーをはじめ、他事業との関連も鑑みながら情報発信を進めた。

① 総発行部数 11,000部（1,000部/月、年11回発行）

② 販売部数 4,334部、贈呈・交換部数 3,289部

③ 特集テーマ

4月号	女性の自立を阻むものとは
5月号	娘・母・家族と規範
6月号	「男女共同参画」のこれから
7月号	スポーツは誰のもの？
8月号	メディア—知らされること・知らされないこと
9月号	ジェンダー平等—子どもたちの育つ場でできること
10月号	地域からのジェンダー主流化
11・12月	GBV (Gender Based Violence) —当事者主体の支援を考える
1月号	危機—ジェンダー視点からの検証
2月号	働くこととケア
3月号	出発・再出発—ともにあゆむ

(2) パネル等普及啓発資料の作成・普及

趣旨：イラストを通して男女共同参画にまつわるさまざまな問題を提示する「なるほどジェンダー」パネル、「発見！ジェンダー」パネルを貸出・販売する。また、パネル貸出増のための普及活動に取り組み財団の認知度向上を図る。

① パネルの貸出・販売

貸出件数：16 件

「発見！ジェンダー」 貸出先	下関市（山口県）、東広島市（広島県）、九州産業大学（福岡県）、府中市男女共同参画センター（東京都）、3・8 国際女性デー長野プロジェクト（長野県）
「なるほどジェンダー」 貸出先	流山市（千葉県）、嘉手納町（沖縄県）、ソレイユさがみ（神奈川県相模原市）、リーブラ（東京都港区）、広島県男女共同参画財団（広島県・2回）、のべおか男女共同参画会議21（宮崎県・2回）、アルザフォーラム2023 実行委員会・新潟市（新潟県）、下関市（山口県）、鯖江市（福井県）

② パネルの普及活動

<1> 令和5年度東京ウィメンズプラザフォーラム ワークショップ参加

日時：11月11日（土）

テーマ：「～知る・気づく・考える～『発見！ジェンダー』パネル展」2023

実施方法：会場展示

参加者：76人

<2> 「発見！ジェンダー」リーフレット作成

「発見！ジェンダー」パネルイラストを学習教材として使用できるよう、リーフレットを作成。東京ウィメンズプラザフォーラムにて、パネル展来場者にアンケートを実施。また、立教大学の講座でも活用した。

(3) 資料の整備・情報公開

① ホームページの充実

趣旨：当財団の事業については、適宜、事業案内・報告を財団ホームページに掲

載し、その内容を公開する。また、フェイスブックやインスタグラム、X等のSNSを用いて、タイムリーな情報提供に努める。

② Space We learn の活用

趣旨：リニューアルしたフロアを活用し、芝公園ラボやぶっく・とーくの開催等、本や人を資源とした対話・学び合いの場を創出する。

< 1 > 芝公園ラボ Vol.1

日時：9月1日（金）19：00～20：30

テーマ：「世界のことをもっと知りたくなる、映画がもつチカラ」

講師：アーヤ藍（2023年度『We learn』「社会を旅するシネマ」連載）

実施方法：ハイブリッド

参加者：15人

< 2 > 「ぶっく・とーく」

① 第21回「ぶっく・とーく」*NWEC フォーラム 2023 出展プログラム事業

日時：12月9日（土）10：00～12：00

テーマ：『「AKK 女性シェルター」から「DV 防止法」制定へ

—1990年代フェミニズム・当事者主体の女性運動記録』

話し手（本書著者）：波田あい子・内藤和美（理事）・亀田温子（評議員）

コメンテーター：福田和子（#なんでないのプロジェクト代表）

実施方法：オンライン

参加者：32人

② 第22回「ぶっく・とーく」*2023年度キャリア支援デザイナーフォーラム内実施

日時：2月17日（土）10：00～12：00

テーマ：『「市川房枝、そこから続く「長い列」』 『ジャーナリスト与謝野晶子』

著者<野村浩子さん・松村由利子さん>を迎えて」

講師：野村浩子（理事）、松村由利子（歌人）

実施方法：ハイブリッド *見逃し配信あり

参加者：32人（申込数52人、動画再生数 回）

*報告記事を月刊『We learn』2024年6月号に掲載予定

< 3 > 作品展開催

内容：当財団フロアの活用の一つとして、ジェンダーや男女共同参画についてアート等を通して発信する場を企画。

① 「社会を旅するシネマ」展

期間：6月23日～9月22日

内容：月刊『We learn』では、国内外の映画をジェンダー視点で取り上げた記事を掲載している。2023年4月より連載の「社会を旅するシネマ」（アーヤ藍さん執筆）の記事をカラー版で紹介し、映画を通して社会問題を知るきっかけとする。

- ② 『写真とことば』 第2回ジェンダーデザイン・コンテスト入賞作品展
 期間：10月20日～12月22日
 ＊福岡市と九州大学芸術工学研究院社会包摂デザイン・イニシアティブが主催したコンテストの入賞作品を展示。
- ③ 「霧島あるあるジェンダーパネル展」
 期間：1月26日～3月29日
 ＊山口眞理さん（第3期キャリア支援デザイナー）が発起人となった団体「共同参画シティズンシップ霧島」が作成した「霧島あるあるジェンダー」パネルを展示。

4. 関係諸団体との連携支援

女子会館内団体との情報交換を行った他、国際婦人年連絡会・全国女性会館協議会・社会教育団体振興協議会、男女共同参画と災害・復興ネットワーク等に加え・連携して、全国的・国際的な活動に参画・参加するとともに、全国各地からの要望に応じて連携・支援を行った。

(1) 他団体との連携・支援事業

① 関連団体の会議への参加

- a. 国際婦人年連絡会：総会・全体会（5月31日）（学習事業課長）
- b. NPO 法人全国女性会館協議会：総会（6月1日）（学習事業課長）
- c. 東京ウィメンズプラザ館長会議（11月7日）（学習事業課長）

② 団体、自治体、大学への職員等派遣、講座等の連携

- a. 清瀬市男女平等推進委員会委員（22年7月～24年6月）（学習事業課課長補佐）
- b. 5月16日流山市「わたしへのごほうび講座 2023 第2回」
 （学習事業課長、課長補佐）
- c. 5月25日江東区「第31期パルカレッジ 第2回」（学習事業課長）
- d. 7月6日国立市公民館「女性の生き方を考える講座 第7回」（学習事業課長）
- e. 7月12日聖心女子大学「女性とキャリア編～人生を切り拓くために」
 （学習事業課課長補佐、課長）
- f. 10月2日江東区「江東区立有明西学園 学校出前講座」（学習事業課係員）
- g. 12月12日立教大学 NPONGO 論（学習事業課長）
- h. 認定NPO 法人国連ウィメン日本協会主催講座を共催
 10月9日「国連国際ガールズデー アフガニスタン少女・女性支援オンライン
 チャリティイベント」
 12月3日「女性に対する暴力撤廃国際デーオンライン・セミナー」

③ 協力

- a. 慶應義塾大学学生、災害用下着についてアドバイス
- b. 修学旅行生受け入れ（千歳市立向陽台中学校、4月14日）
- c. 全国女性会館協議会全国大会（12月11日）女性関連施設見学受け入れ（7名）
- d. JWLI（フィッシュ・ファミリー財団主催 Japanese Women's Leadership Initiative）「チャンピオン・オブ・チェンジ日本大賞 2023」広報協力

e. JWLI メンター協力（学習事業課長）

④ その他

（特非）全国女性会館協議会が実施する「能登半島地震被災地を応援する活動支援金」にて寄付を行った。

（2）生涯学習等公益事業を行う非営利団体に活動拠点を提供し支援する事業

生涯学習や男女共同参画社会の発展のため活動している団体支援事業として日本女子会館の施設を低料金で賃貸している。

2023 年度末時点での日本女子会館の公益目的賃貸に供している対象団体と面積は下表のとおりである。

（2024 年 3 月 31 日現在）

	テナント名	階	坪
1	公益社団法人 長寿社会文化協会	1 階	43.35
2	特定非営利活動法人 全国女性会館協議会	1 階	5.73
3	公益財団法人 さわやか福祉財団	7 階	118.45
		合計	167.53

5 階の「スペース We learn カンファレンスルーム」は、OWL 会員を中心に、女性関連団体、キャリア支援デザイナー等に対して提供することで、その活動を支援している。5 階フロア リニューアル以来、順調に稼働率が上がってきている。

（3）シェアオフィス・バーチャルオフィス運営「オフィス We learn」

趣旨：女性が起業するにあたって、活動拠点となるオフィスの確保が障壁の一つとなっており、女性専用シェアオフィス・バーチャルオフィスを設置することで女性の自立を支援する。「キャリア人財プラットフォーム」事業の一環として日本女子会館 5 階の一室を管理運営している

対象：起業を目指す女性、都心に事務所を必要としている女性起業家等、働く女性及び女性が代表を務める法人

会員種別：正会員、法人会員、デイリー会員、イブニング会員、バーチャル会員

定員：30 人

会員数：28 件(2024 年 3 月 31 日現在)

法人会員；6 団体、デイリー会員；18 名、イブニング会員；2 名

バーチャル会員；2 名

（デイリー会員 18 名の内 4 名はキャリア支援デザイナー）

*施設内に 2 室ある個室の使用許諾契約は継続

II. 収益事業

2023年度の収益事業会計の経常収益は128,298,152円、経常費用は54,723,543円で、収益事業単体の収支は73,574,609円となる。

公益事業を含めた全会計の経常収益は161,931,114円、経常費用は147,768,966円で、税引前当期一般正味財産増減額は14,162,148円となり、前年度と比較すると9,980,004円の増益となる。

法人税は、大規模改修工事の際に生じた税務上の繰越欠損金があるため、均等割の70,000円のみで、その結果、当年度の一般正味財産増減額は14,092,148円になった。

なお、経常費用総額のうち公益目的事業会計の占める割合は57.41%で、50%を超えているため公益財団法人としての基準を満たしている。

1. 日本女子会館建物の賃貸事業

(1) 入退居テナント状況

2023年度は、2023年2月以降満室状態を維持している。コロナ禍で経営困難に陥っていたテナントに対する賃料減額支援は、当該テナントの業績回復の兆しが見えてきたこともあり当初の予定どおり8月に終了し、現在は正常な賃料収入が得られている。

(2) 契約更新・再契約状況

既存テナントの定期建物賃貸借契約は、同条件による再契約の締結を進めており、3月末日現在、満室を維持している。

2. 日本女子会館の維持経営

(1) 日本女子会館建物の維持管理

2022年度に完了した大規模改修工事竣工後も、建物・設備の老朽化に伴う不具合等を改善するため、適宜修繕工事を実施した。引き続き日々の各所点検を励行し、優先順位を見極めて対応することを徹底している。

2023年度の主な修繕工事として、正面玄関自動ドアセンサー更新、1階廊下内装更新、8階照明器具更新、建物南側スロープ常夜灯更新、各所電力量計更新、各所非常照明器具更新、5階トイレ配水管詰まり修理、2階空調室内機ドレンポンプ更新、6階空調室内機電磁コイル更新、非常用発電機バッテリー更新、各所避難誘導灯更新、2階煙感知器更新を実施し、3,921,528円支出している。

III. 管理部門

1. 賛助会員

2023年度末における会員状況は、以下のとおり。

個人会員数：42名（50口） 法人会員数：2団体（2口）

2. 理事会

開催日/場所	議題・報告事項	審議結果
2023年5月24日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	<p>議題</p> <p>(1) 2022年度 事業報告(案)について (2) 2022年度 収支決算書(案)について (3) 2023年度 定時評議員会開催日時及び議案について (4) 任期満了に伴う理事、監事候補者名簿を定時評議員会に提案することについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	承認 承認 承認 承認 了承
2023年6月14日 決議の省略 (監事の異議なし)	<p>代表理事より提案</p> <p>(1) 業務執行理事(常務理事)を藤井俊一とする</p>	全員同意
2023年10月23日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	<p>議題</p> <p>(1) 2023年度 上半期事業計画の進捗状況について (2) 評議員・理事・監事選任に関するガイドラインについて</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	承認 承認 了承
2024年3月18日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	<p>議題</p> <p>(1) 2024年度 事業計画(案)について (2) 2024年度 収支予算(案)について</p> <p>報告事項</p> <p>(1) 2023年度 下半期事業計画の進捗状況について (2) 理事長、常務理事の職務の執行の状況について</p>	承認 承認 了承 了承

3. 評議員会

開催日/場所	議 題	審議結果
2023年6月14日 日本女子会館5階 会議室 ハイブリッド開催	議題 (1) 2022年度事業報告書(案)の承認について (2) 2022年度収支決算書(案)の承認について (3) 理事・監事の任期満了につき改選について 報告事項 (1) 2023年度事業計画について (2) 2023年度収支予算書について (3) 評議員選定委員会の選考結果について	承認 承認 承認 了承 了承 了承

4. 評議員選定委員会

開催日/場所	議 題	審議結果
2023年4月14日 リモート開催	議題 (1) 公益法人日本女性学習財団の評議員任期満了に伴う改選	11名選任

事業報告の附属明細書

2023年度事業報告には、「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、定款第11条(2)に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。